

# 伊野-INO-

～小さなまちの大きな魅力～

伊野コミュニティセンター 〒691-0072 島根県出雲市野郷町492-5  
TEL: (0853)69-1526 FAX: (0853)69-1530 メールアドレス: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

コミセンホームページ



## 伊野将来ビジョン完成 やって未来こい! ENO暮らし2030

10年後20年後も安心して楽しい伊野をつくるために私たちは何をしなければならないか。昨年、70余名の「戦略会議」メンバーが1年間かけてまとめあげた伊野の将来ビジョンが完成しました。

皆様のお手元に届いていることと思います。じっくりお読みください。そして、私たち1人ひとりにできることを考えましょう。

### キャッチフレーズに込めた願い

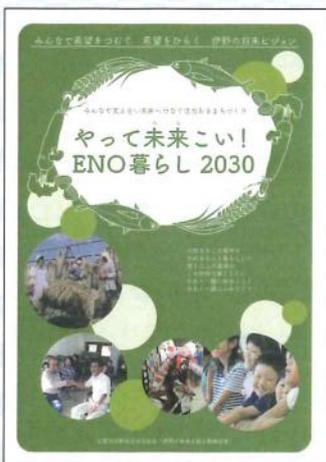
やって未来こい!

まず最初の一步を踏み出そう。そうすれば次の一步の手がかりもつかめよう。

ENO…えがおで、のんびりと、お互いさまのコミュニティで伊野暮らしは「い～の～!」。

ENO (英語) …みんなのやる気 (Emotion) で、新しい (New)、独創的な (Original) コミュニティをつくろう。

2030…2030年までに、伊野地区住民と関係人口 (伊野の応援団) を含めて2030人の新しいコミュニティをつくろう。



## 農水部会「伊野米」 米袋デザイン決定!!



伊野地区まちづくり実行委員会 農水部会で伊野米の袋のデザインを応募したところ、13件のデザインが集まり、ありがとうございました。

話し合いの結果、各団体の人気のあった優秀作品の中からデザインを採用させていただきました。

最優秀賞 倉橋 浩志 さん  
デザイン賞 原田 忠士 さん でした。

ご応募ありがとうございました。

(農水部会)

## 新しい仲間を迎えました!

Welcome! 福島沙織 さん

この4月から地域おこし協力隊員として出雲市に採用されました。伊野地区を重点にまちづくり活動に参加していただきます。

秋田県出身で前年度まで農水省にお勤めでした。「食」を切り口に、伊野のまちづくりに参加したいと意欲を燃やしておられます。

お住まいは、よしの団地です。夫と子ども2人の4人家族です。親しくしてあげてください。



一伊野地区の人口一  
(R2.4月末現在)  
男性… 600人  
女性… 656人  
合計… 1,256人  
世帯数… 416世帯

# 地域おこし協力隊 福島沙織さん

## ようこそ、伊野へ!!



### プロフィール

1983年生まれ、秋田県秋田市出身。大学(農学部)卒業後、農林水産省で14年間勤務。野菜農家の夫(斐川町出身)と子供2人(4歳、2歳)の4人暮らし。趣味は、料理、読書、アウトドア。  
Twitter: @saori\_izumo

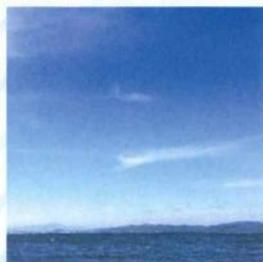
### 地域おこし協力隊・ふくしまがつづる、連載スタートです!

伊野の皆さま、こんにちは!地域おこし協力隊の福島沙織です。伊野の住民になって早1ヶ月。ですが、まだほとんどの方が私のことをご存じないかと思います。そんな、伊野ではレアキャラの私ですが、この度、広報誌に思いをつづるコーナーを作っていただきました。しかも、単発ではなく、人生初の連載です。連載初回の今回は、伊野でお会いしたほとんどの方から言われる「よく移住しようと思ったね」、「仕事を辞めるなんて不安じゃなかったの」という疑問に、ズバリ、お答えしたいと思います。



### 仕事に追われて、「本当にやりたいこと」は思考停止…

私の前職は公務員でした。そう、「THE・安定」の公務員です。とはいえ、中央省庁での勤務だったので、そこそこ激務ではありました。若かりし頃は、徹夜で仕事をして始発電車で帰宅、シャワーを浴びてすぐ出勤、なんてことは日常茶飯事。職場の共通認識は、「残業時間が多い=デキる人」。そんな多忙な毎日の中で、次第に「自分が本当にやりたいこと」について考えるのをやめてしまい、今思えば「こなす日々」を過ごしていました。



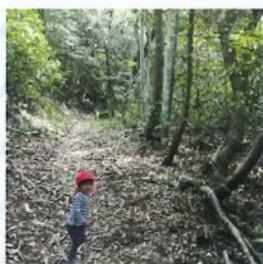
### 夫から移住・就農の提案。…いいけど、でも、不安しかない

そんなある日、夫から「故郷の出雲で就農したい」と打ち明けられた時には、「そうよね、そういう人生もあるよね」と、わりと前向きに受け止められました。むしろ、結婚当初から冗談半分(半分は本気)で「出雲でトマト農家になろうよ」とけしかけていたのは私の方。でも「いざ移住」となると、やっぱり不安でした。農業で生計が成り立つのか、子供の教育費は大丈夫なのか、台風などの心配もある、田舎の生活を楽しめるのか、憧れて入った今の職場に対する私の思いはどうなるのか。移住・就農に反対する理由は、いくらでも思い浮かびました。



### ふと、流れに身を任せてみたくなった

でも、夢がある人には勝てないのです。もしここで、夫に移住・就農の夢をあきらめさせたら、私は一生、夫に対して後ろめたさを抱えたまま生きることになります。私にとって、「移住の不安」よりも、「夫への後ろめたさ」の方が受け入れられませんでした。「就農しても失敗する」とか「移住しても地域になじめない」とか、そんな、起こるかどうかもわからない挫折を理由に、やりたいことがある人の思いを踏みにじれないな、と。夫と二人で「好きなことを仕事にするという生き方」にチャレンジするのもいいじゃない。そう思ったら、ふと、流れに身を任せてみたくなりました。この決断を、未来の私がどう振り返るのか、今から楽しみです。



### 情報求む! 伊野の食材・伝統料理

海・山・湖と多様な自然に恵まれた伊野地区。「食は地域を知る一番の近道」ということで、伊野ならではの伝統料理や食材について調べたいと思っています。「これは昔から食べてるよ」「今度、季節のこんな料理作るよ」という情報がありましたら、お気軽にご連絡ください!

#### (連絡先)

地域おこし協力隊 福島  
電話: 0853-63-3111  
メール: saori.fukushima0903@gmail.com

#### 伊野の伝統料理、例えば…

- ・しば入りチマキ
- ・シジミ汁
- ・フグの味噌汁 など

ちなみに、そんなことを考えていた時期に産まれた娘の名前には「帆」という字をつけています。吹いてきた風をふわりと帆に受けて、しなやかに人生を切り拓いてほしい、そんな願いを込めて。

ここまでの、出雲への移住を決めた私の移住秘話(?)です。おっと、なぜ地域おこし協力隊になったのか、という話は書き切れませんでした。それはまた、機会があれば。

### 移住者視点で、伊野を切り取る

そんなこんなで、やっと始まったばかりの伊野暮らしですが、次回からは、私が伊野で出会ったヒト・モノ・コトを、移住者の視点でお伝えできればと思います。ご意見・ご感想、お待ちしております!



# 退任にあたって

前伊野地区社会福祉協議会会長 新宮 邦男

新緑の候地区の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて 私こと

このたび3月31日をもちまして伊野地区社会福祉協議会会長を退任いたしました。平成24年4月に就任してから8年間という長い間、皆様から温かいご指導と格別なご協力を頂き、誠にありがとうございました。心から厚くお礼を申し上げますとともに、何ら足跡を残すことがなかったことにつきまして、深くお詫び申し上げます。

ところで、現下のコロナ禍を誰が想像できたでしょうか。大人も子供も巣ごもりを要請され、人との交流が遮断されています。テレビだけが相手という方も多いと思います。高齢者の寝たきりや認知症発症予防の観点から進めていた、社会と接点を持つ活動をはじめとした社会福祉活動も休眠状態となっています。地域の多くの活動も同様です。今は誰もがウイルスをもらわない・うつさないことが大切です。外出自粛等に努めながら早期の罹患者発生の終息を願ってやみません。3月発行の社協だよりにも掲載しておりますが、伊野地区は、10年後に高齢化率が40%、後期高齢者比率は24%になると推計されており、高齢者のみの世帯や独居高齢者もそれに準じて増加すると思われるます。

このような状況のもと、この程、自治協会において10年後の持続可能な伊野をめざすビジョン「やって未来こい！EZO暮らし2030」が作成されました。このビジョンでは、このまま何もしなければ、集落機能が果たせなくなり、コミュニティ機能が低下し、地域が疲弊してしまうということを述べています。ビジョンを検討する中で、高齢者のみの世帯や独居者の増加、長寿化による認知症発症者の増加、免許返納などによる交通手段のない人の増加、町内行事へ参加できない人や住環境の悪化する人の増加等々多くの課題が浮き彫りになりました。これらの課題解決に向けて一つずつでもできるところから動き出す必要があります。誰もが自分のこととして考え、助け合うことが求められており、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

末筆ではございますが、新会長のもと、地区の社会福祉活動がますます活性化することを願い、また、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。長い間、有り難うございました。

## 伊野ふるさと探訪 Part 19

### すもう せきひ 「相撲石碑」

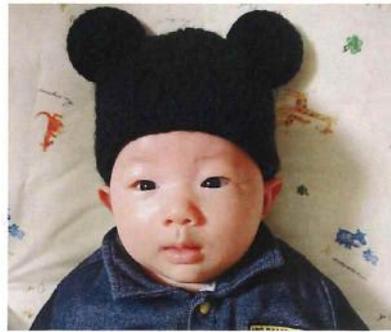
大谷町内の市道美野本線北側の共同墓地の入口にあります。江戸末期から明治の初めに大阪（上方）相撲で活躍した力士の碑です。ある時二人が対戦したところ、力量互角で勝敗つかず両者土俵上で息絶えたとのことです。大谷町内より波の音己の助、畑ヶ中町内より東川助右衛門の二人です。

(郷土誌研究会 常松)



男の子

おくむら あいと  
奥村 愛士 くん



令和2年2月10日生まれ  
父：道弘さん、母：香織さん  
(畑町内)

—ご家族から愛士くんへのメッセージ—  
元気いっぱい愛ちゃん♡  
大きくなったら一緒に走ろうね♪

赤ちゃん紹介

## ふるさと広場花壇整備

多久和幸広さん(大畑)のご厚意でふるさと広場周辺にマリーゴールドの苗を植えていただきました。夏にはきれいな花をつけてくれることでしょう。咲くのが待ち遠しいです。



## おねがい



近頃、小学校の花壇、校庭、周辺の歩道や溝などにタバコの吸い殻や空き箱のポイ捨てが数多く見受けられます。喫煙される方はルール、マナーを守っていただきますようご協力をお願いします。

みんなで、ポイ捨てのないきれいな伊野を目指しましょう。